

第1回講座

自然の大切さを考える

2018パークレンジャー養成基礎研修

2018/4/8

NPO法人日本パークレンジャー協会



1. 自然とは?

自然 (しぜん / Nature)

- * 人間を含めてこの世のもの 全部
- * 人工的でないもの
- * そのものに本来備わっている性質、天性、本性
- * 他の力に依存せず自ら生まれて成長・変化・消滅するもの

自然 (じねん / 古来からの日本語)

自(おの)ずからの性質に従って 然(しか)るべくあるもの
(あるがまま)

2. 西洋的自然観 vs. 日本的自然観

■ 西洋的自然観

- * 自然は神様が作った / その身代わりが人間
- * 神様 → 人間 → 自然
- * 人間中心、自然は物、自然は克服すべきもの

■ 日本的自然観

* 自然の力に畏敬・尊敬

自然災害/自然の恵み/ 不可思議/生命力 → 自然の中に神様

* 人と自然はつながって生きている

生き物はともに生きている/マタギ、ご先祖様 → 共生・生命に感謝・ご先祖様

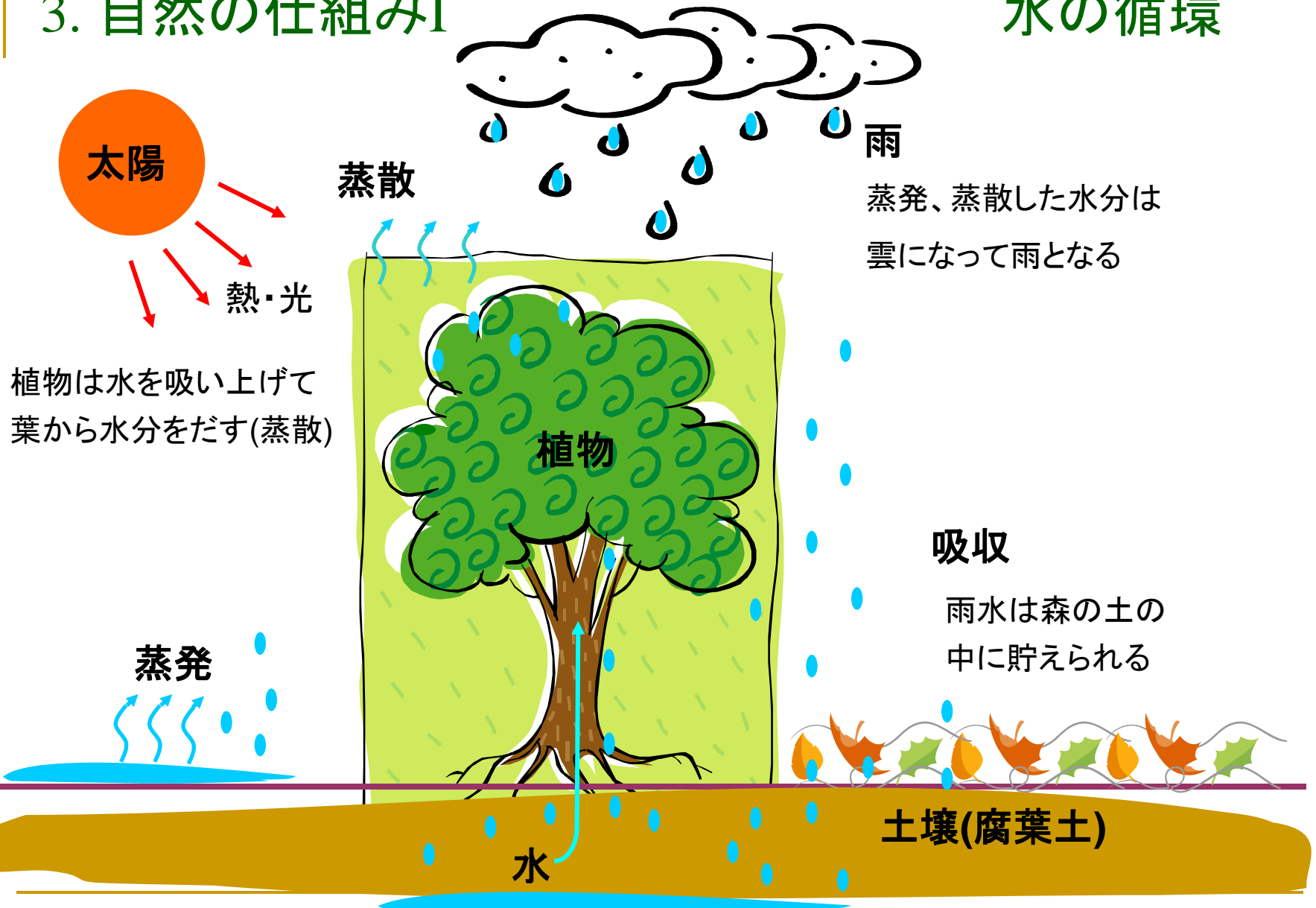
* 人と自然の一体観 (人も自然の一部)

自然を物と見ない / 「あるがまま」 → 自然「じねん」

西洋：自然は物、日本：物でなくあるがままに見る

3. 自然の仕組みI

水の循環

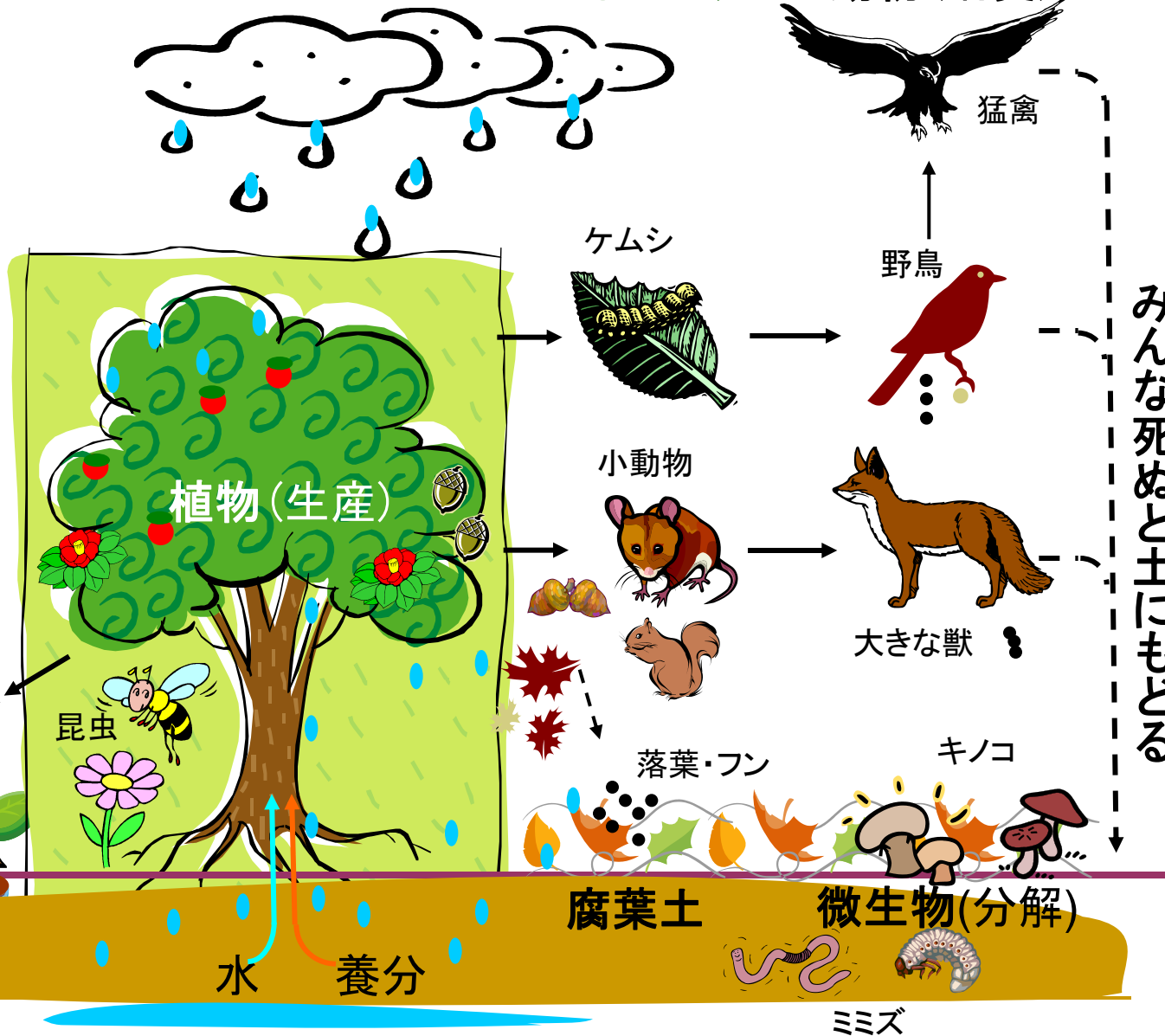


水は地上と空を循環している

4. 自然の仕組みII 生きもののつながり

太陽

植物の光合成
水+CO₂ → 糖+O₂



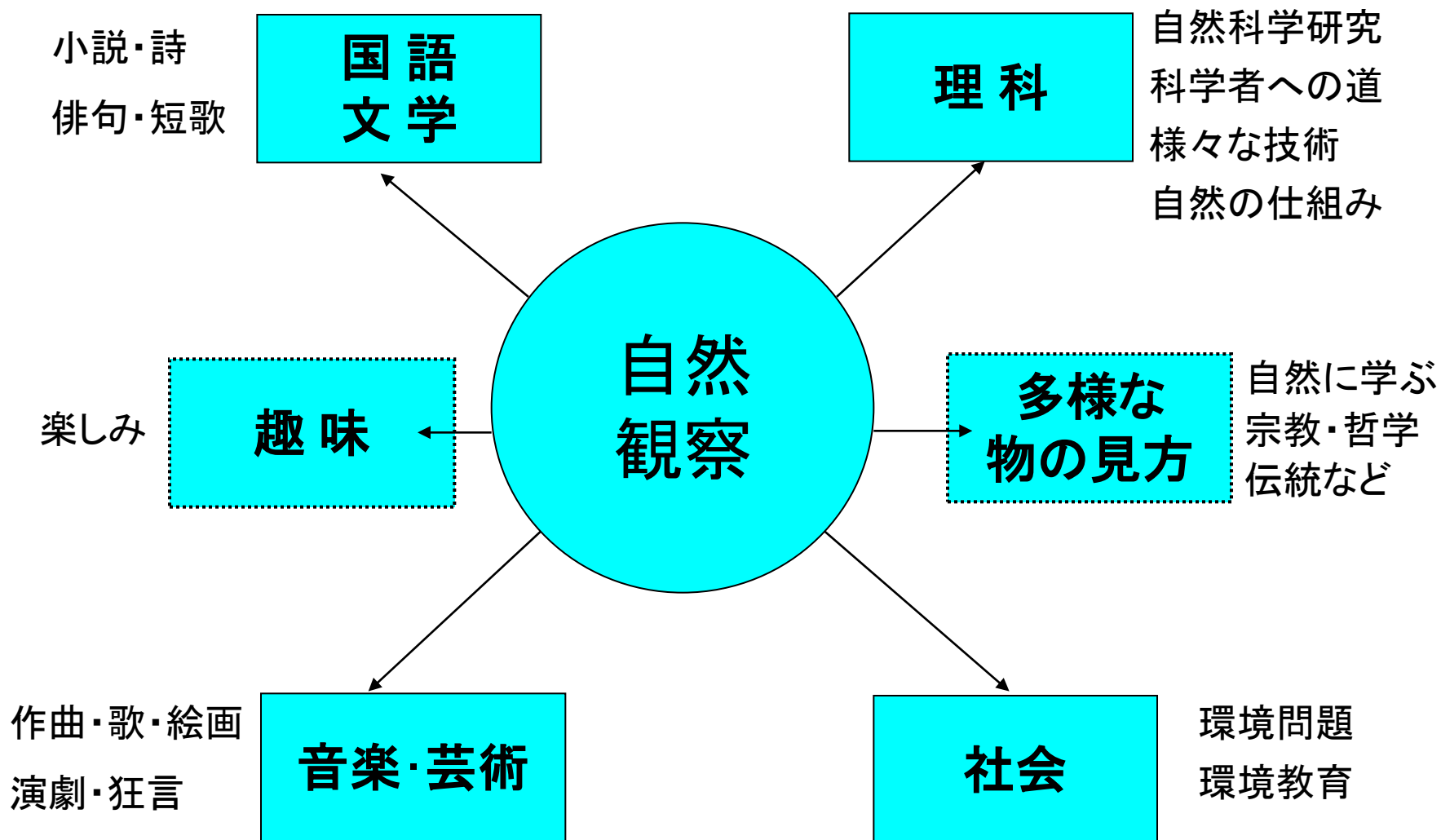
生きものはつながって生きている

5.-1 自然の大切さ (物として)

- 人(生きもの)は自然と言う仕組みの中で生きている
 - 自然はさまざまな生き物のつながりで成り立っている (食物連鎖)
 - 水、空気、衣・食・住 (基本は植物から) 燃料、医薬、資源...
 - 人も自然の一部
- 人は自然を観察して色々なものを作りだした
 - 「科学・技術・文学・音楽・絵・・・」
- 生命誕生の歴史 : 「宇宙→地球→生命の起源」
 - 私たちはどこから来たのか? ルーツ(生命の誕生)は共通の祖先

人は自然とともに生きている

5-2. 自然を見ることから生まれたもの



人は自然からあらゆることを学んできた

5.-3 自然の大切さ (形のないものとして)

- **自然に畏れ・尊敬** → **自然の中に神様**
 - 自然災害・自然のめぐみ・不可思議・生命力
- **自然に生命を感じる / ご先祖様** → **命を知る/ 祖先に感謝**
- **人は自然から様々なものを学んできた** → **多様な物の見方**
- **生き物は共通の祖先をもつ** → **生命の歴史**
- **日本的自然観**
 - 人と自然の一体観: 自然を物として考えない → **自然「じねん」** あるがまま

自然を物として見るだけでなく「心」で見る大切さ

5-4. 私たちの祖先

JT 生命誌絵巻より

現代の色々な生きもの



地球上の全ての生きもののルーツは38億年前の共通の祖先

6. 自然の大切さを伝えるということ

パークレンジャーの活動は、人に自然を分かり易く伝えて理解してもらい、そして自然を大切にすることになる人になってもらうこと

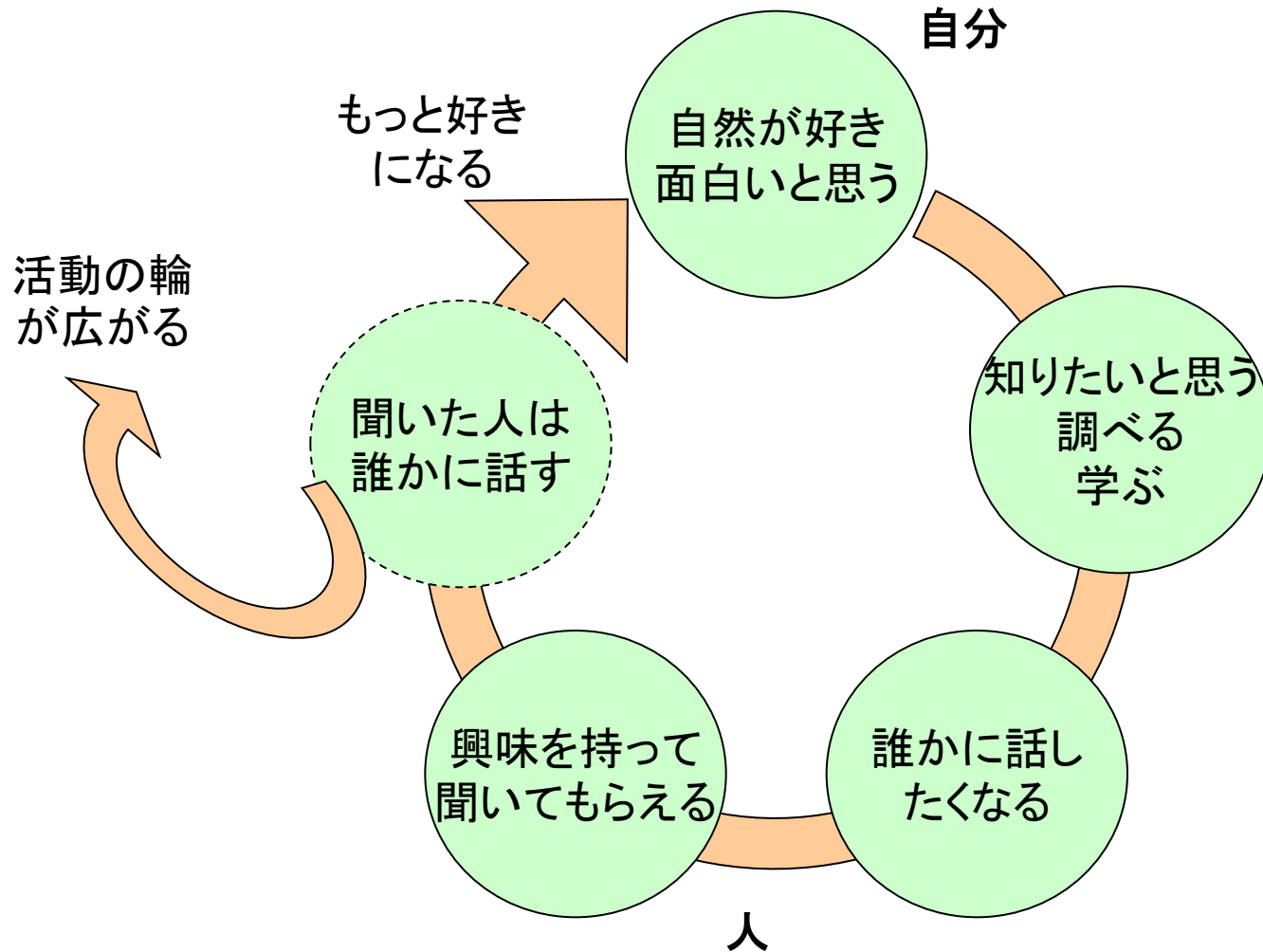
体験する → 自然を知る → 自然を大切にする
(楽しむ) (理解する) (行動する)

人は自然の美しさや不思議さ、面白さの発見などの楽しい経験をするをくり返して自然のことを知る

そして自然が身の回りであることを実感できるようになって始めてその大切さに気づき守ろうと言う気になる

身体で覚えたことは記憶に残る

7. 自然の大切さを伝える活動



「自然に興味を持つ → 学ぶ → 話す → 更に学ぶ」 サイクル

メモ